2025 年度研究報告書

研究代表者
所属　ヘルスサイエンスセンター島根
氏名　牧野　由美子

1. 研究テーマ

健康診断受診者の心房細動と心原性脳梗塞

2. 研究者氏名

牧野由美子、和田和美、小村恵美子、大城等、名越究

3. 研究概要

（目的）健診受診者について、心電図で心房細動と判定されたものの状況を分析し、心房細動の早期発見・早期治療による心原性脳梗塞の低減向けた取り組みについて検討する。

（方法）

2013～2023 年度の当センター健診受診者のうち 40～70 代で心電図検査を受検した延べ 83,605 件（男性 47,662 件、女性 35,943 件）について、各年度で心房細動だったものの罹患割合、管理状況、推移を分析した。また、この間一度でも心房細動だった個人を識別し実数を算出するとともに、関連すると思われる他の疾患の状況を分析した。

（結果）

・年度ごとの罹患割合は、男女全体で 0.71％～0.32％の間で推移し男性の罹患割合が圧倒的に高かった。経年で見ると罹患割合は各年代とも減少してきている。
・心房細動の管理状況は、経年的にみると治療中・観察中が増加しているが、なお、2 割程度は健診時に発見され要精密検査となっている。
・心房細動と診断されたものの実数は、11 年間で男性 132 人、女性 14 人の計 146 人で最終確認時には 60 歳代が約半数を占めた。最終確認時、その他治療中であった疾患は、高血圧、虚血性心疾患、脂質異常症、高尿酸血症、糖尿病であった。

（考察）

・心房細動が男性に多い背景として、今回の対象年齢では、女性に比べ男性で高血圧、虚血性心疾患が多いことが影響していると思われる。また、今回の結果は、東北地方の複数の同様な調査研究より心房細動の頻度が低かったが、これは、これらの地域で高血圧患者が多いことに起因すると思われた。

・心房細動罹患割合は、経年的に減少傾向がみられるが、これは、近年の高血圧管理の改善、心房細動治療の薬物療法の発展、アブレーションなどの手術療法の進歩と適用の拡大によるものと考えられた。
・心房細動の早期発見に向け、日常の診療現場での聴診・脈診の推進、特定健康診査等で医師が必要と認めた際の心電図検査の実施の周知・徹底が必要と思われた。
・心房細動に関係する危険因子として、加齢、高血圧、糖尿病心不全等、従来指摘されているもののほかに、高尿酸血症についても注意が必要と思われた。
・島根県の‘23 年脳卒中発症状況調査によれば、心原性脳梗塞は男性より女性で多く、特に（今回の調査対象外の）80 代以上の女性に多い。女性では、閉経後急激に血圧が上昇することが指摘されており、これが関連していると思われるところから高齢女性の血圧管理に注意する必要がある。

（結語）

健診時、心房細動を呈するものは減少傾向にある。心房細動の更なる早期発見に向け、診療の場での聴診・脈診の推進、特定健診等の際の心電図検査の積極的な実施が重要と思われた。心房細動の危険因子として従来の高血圧等に加えて高尿酸血症にも注意する必要がある。また、女性の心原性脳梗塞の提言に向け、高齢女性の血圧等リスク管理の更なる注意が必要と思われた。

4. 学会雑誌への発表

島根医学 Vol.435 No3 2026.2

表１　13～23年度の心電図ありの受診件数（40～70歳代）

	13年度	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
男	3,885	4,000	4,190	4,354	4,341	4,611	4,661	4,535	4,422	4,380	4,283
女	2,733	2,808	2,991	3,009	3,158	3,367	3,639	3,572	3,519	3,594	3,553
計	6,618	6,808	7,181	7,363	7,499	7,978	8,300	8,107	7,941	7,974	7,836

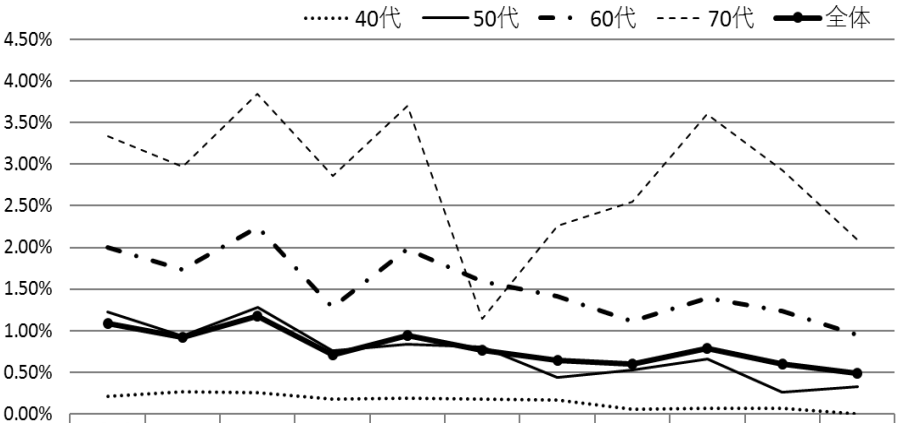
表２　心電図受検者の平均年齢

	13年度	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
男	53.20	53.22	53.10	53.24	53.45	53.55	53.69	53.95	54.23	54.52	54.78
女	52.35	52.09	52.18	52.54	52.55	52.86	53.16	53.23	53.32	53.59	53.73
計	52.85	52.76	52.72	52.96	53.07	53.26	53.46	53.63	53.83	54.10	54.30

表３　心房細動の罹患割合

	13年度	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
男	1.08%	0.93%	1.17%	0.71%	0.94%	0.76%	0.64%	0.60%	0.79%	0.59%	0.49%
女	0.04%	0.00%	0.07%	0.00%	0.06%	0.06%	0.05%	0.08%	0.11%	0.08%	0.11%
全体	0.65%	0.54%	0.71%	0.42%	0.57%	0.46%	0.39%	0.37%	0.49%	0.36%	0.32%

図１　心電図にて「心房細動あり」の罹患割合変化（男）



	13年度	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
40代	0.21%	0.27%	0.25%	0.18%	0.18%	0.17%	0.17%	0.06%	0.06%	0.07%	0.00%
50代	1.23%	0.94%	1.28%	0.76%	0.83%	0.80%	0.43%	0.52%	0.66%	0.26%	0.32%
60代	2.00%	1.74%	2.24%	1.28%	1.97%	1.59%	1.41%	1.12%	1.40%	1.23%	0.95%
70代	3.33%	2.97%	3.85%	2.86%	3.70%	1.14%	2.26%	2.55%	3.60%	2.93%	2.10%
全体	1.08%	0.93%	1.17%	0.71%	0.94%	0.76%	0.64%	0.60%	0.79%	0.59%	0.49%

表４　心房細動の管理状況の推移（男女計）

	13年度	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
心房細動	43	37	51	31	43	37	32	30	39	29	25
治療中	26	26	24	22	28	24	26	20	30	23	19
観察中	0	1	3	2	1	0	0	0	1	1	1
要精査	17	10	24	7	14	13	6	10	8	5	5
要精査割合	39.5%	27.0%	47.1%	22.6%	32.6%	35.1%	18.8%	33.3%	20.5%	17.2%	20.0%

表５　13～23年度の健診で心電図で心房細動と診断

	40代	50代	60代	70代	全体
男	9	32	67	24	132
女	0	1	6	7	14
男女計	9	33	73	31	146

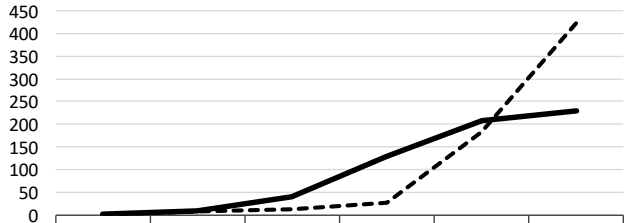
表６　13年度から23年度の健診で心房細動と診断された者のその他疾患の受療状況（最終確認時）

	高血圧	虚血性心疾患	脂質異常症	高尿酸血症	糖尿病	その他の心臓病	脳卒中
男	63	31	17	18	14	6	3
女	11	2	3	1	2	2	2
男女計	74	33	20	19	16	8	5

表７　令和5年島根県脳卒中発症者状況調査

	H23(2011)			R5（2023）		
	島根県	男	女	島根県	男	女
脳出血	467	243	224	371	204	167
脳梗塞	1,821	1,003	818	1,410	804	606
（うち心原性）	354	182	172	308	143	165
くも膜下出血	148	50	98	95	35	60
病型不明	40	19	21	40	15	25
脳卒中総計	2,476	1,315	1,161	1,916	1,058	858

図２　心原性脳梗塞の年齢階級別発症率（人口10万対）
令和5年（2023年）



	40～	50～	60～	70～	80～	90～99
男	2.4	9.8	40	128.7	208.5	229.3
女	0	7.5	11.5	27.1	182.6	422.6